

(様式 1)

令和 3 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立菊川小学校
校長名	柿沼 広美

1 本校の学力に関する状況赤は去年のまま

(1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
<p>① 国語の目標値を全ての学年及び教科で達成することができた。</p> <p>② 全国の平均正答率を第 4 学年の算数と社会、第 4～6 学年の理科以外の全ての学年及び教科で上回る結果となった。</p> <p>③ 学校全体の平均正答率が 3 年連続して全国の平均正答率を上回ることができており、第 3 学年の国語、第 5 学年の算数は昨年度よりも平均正答率が上昇している。既習事項の解説や区の推進する振り返りシートの活用を行った成果である。</p>	<p>① 第 4 学年の社会・算数・理科が目標値を達成することができていない。原因として、既習事項の未習得が考えられる。今後は前学年までの学習を振り返る時間を作り、放課後学習教室や宿題の出し方を工夫して対応していく。</p> <p>② 第 5、6 学年の理科の知識・技能において第 5 学年 5.2 ポイント第 6 学年 1.2 ポイント下回る結果となった。基礎問題の数値は目標値を上回っていることから、基礎的な知識・技能を用いて取り組む発展的問題にも挑戦していくよう指導をしていく必要がある。</p>

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<p>・「タブレット端末やパソコンを使って学習すると分かりやすい。」という質問では、第 4 学年から第 6 学年では、肯定的な回答が 8 割であった。</p> <p>・第 6 学年において「ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか」という質問では、「工夫している」と回答している児童が全国平均を 7.7 ポイント上回っている。教師の板書だけではなく、自分で工夫してノートを作成していることが分かる。昨年度の課題であったノート指導について、学校として統一した指導を行った結果、成果に表れている。</p>	<p>・第 3・4 学年において「家で授業の予習や、復習をしていますか」という質問では、「だいたいしている」と「ほとんどしない」に二極化している。学力向上委員会を中心に家庭学習の基準や内容、方法を検討し、実態を把握する必要がある。</p> <p>・第 5 学年において「分からない言葉が出てきたときは、辞典などを引いて調べていますか」という質問では、「学校でも家でも調べている」が全国平均を 6.8 ポイント下回っている。分からないことをそのままにしている実態がある。全学年で辞書などを活用し調べる機会を授業の中で意図的に設定する必要がある。</p>

